

小学生(低学年)向け



『グランド・フィーリング・ホテル』
リディア・ブランコヴィッチ/作 tupera tupera/訳
東京書籍 ¥1,980 (税込)

グランド・フィーリング・ホテルを訪れる客は、いろいろな「気持ち」。カナシミさまが来たなら静かに、オイカリさまが来たなら暴られる部屋に…。支配人は客に合わせたおもてなしをする。モヤモヤする気持ちを整理したい時に読みたい絵本。



『こだいのなぞとふしぎのずかん』
五十嵐美和子/著 東京国立博物館/監修
白泉社 ¥1,100 (税込)

ピラミッドやモアイ、縄文土器に埴輪…。古代の人々が残した遺跡などをカラーイラストで紹介。古代の謎や不思議について、子どもたちが興味を持つきっかけになる絵本。用語の解説もわかりやすい。



『空をとびたいルーカスと世界でいちばんたかい本の山』
ロシオ・ボニージャ/作 中井はるの/訳
アチエロ ¥2,310 (税込)

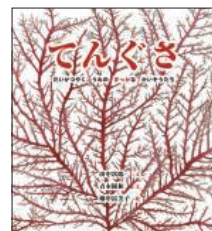
空を飛びたくて無茶ばかりする少年ルーカスは、ママから「とぶ方法は、いくらでもあるわ」と本をもらう。たちまち読書に夢になると、読んだ本は積みあがって山のように…。「想像力」という翼を得たルーカスの、輝くような笑顔が胸を打つ。



『たねはいのちのおわりとはじまり』

鈴木純/著
ブロンズ新社 ¥1,540 (税込)

たんぼぼやみわりなど、身近な植物の種が芽を出し育っていく様子や、種がはじけたり飛んだりして運ばれていく様子を分析する。花が咲き終わり、また種が生まれる様子は命のつながりを感じさせてくれる。植物の観察が楽しくなる一冊。



『てんぐさ』

田中次郎、青木優和/文 畑中富美子/絵
仮説社 ¥1,980 (税込)

ところてんや寒天の原料である赤い海藻「てんぐさ」。てんぐさの生態や赤い色の秘密、ところてんの作り方や寒天の活用法などを、写実的な絵でわかりやすく紹介する。海藻のグループ分け表などもあり、読み応えがある。



『どろぼうジャンボリ』

阿部結/作
ほるぷ出版 ¥1,540 (税込)

泥棒のジャンボリは、手紙を書き損じた紙「てみのたね」を盗み宝箱に隠していた。ある日、自分には手紙が来ないことをひがんだ新町長の命令で手紙が禁止される。がっかりしたジャンボリは町を出るが、宝箱の鍵を閉め忘れてしまい…。



『ラッキー』

キャサリン・アップルゲイト/作 チャールズ・サントソ/絵 尾高薫/訳
偕成社 ¥1,980 (税込)

母親とはぐれた赤ちゃんラッコのラッキーは人間に拾われ、水族館で育つ。一旦海に戻ったものの、けがをして水族館に帰ってきたラッキー。今度は自身が世話役となり、赤ちゃんラッコたちを支え育てる。外国の実話をもとにした、温かい物語。



『わたしはBIG!』

ワシュティ・ハリソン/作 ジェーン・スー/訳
ポプラ社 ¥2,035 (税込)

体が「おおきい」ことを褒められて成長した女の子。しかし次第に他の子どもたちと比較され、心ない言葉に深く傷つき、自分を見失ってしまうが…。周囲の言葉にとらわれず、ありのままの自分で良いと伝える絵本。

その他のおすすめの本

『あおのいえ』

いとうみく/作 丸山ゆき/絵 童心社 ¥1,540 (税込)

『うめぼしつかったよ』

内野美恵/監修 高橋忠照/写真撮影 ひさかたチャイルド ¥1,430 (税込)

『お月さまいつもありがとう』

メリッサ・スチュワート/文 ジェシカ・ラン/絵 まつむらゆりこ/訳 吉村崇/解説・監修 福音館書店 ¥1,815 (税込)

『きみはなんのつる?』

大野八生/作・絵 福音館書店 ¥1,650 (税込)

『給食当番のいちにち』

大塚菜生/文 イシヤマアズサ/絵 少年写真新聞社 ¥1,870 (税込)

『くだものはなんのはな?』

宮崎祥子/構成・文 網野文絵/写真 岩崎書店 ¥1,540 (税込)

『どうぶつたちのおひっこし』

平山暉彦/さく 福音館書店 ¥1,320 (税込)

『マイヤーさんと大きくなりすぎた犬』

リアン・ムーア、レオネ・アデルソン/作 小宮由/訳 kei saito/絵 さ・え・ら書房 ¥1,650 (税込)

『まこちゃんとコトバロボ』

村上しいこ/作 たんじあきこ/絵 佼成出版社 ¥1,540 (税込)

『やくそく』

那須正幹/さく 武田美穂/え ポプラ社 ¥1,980 (税込)

『山に登る』

星野秀樹/写真・文 アリス館 ¥1,760 (税込)

『わたしのちいさいきものえん』

大島加奈子/さく 福音館書店 ¥1,320 (税込)